伊豆市立修善寺中学校 学校だより

(#)

高め合い、認め合う生徒

∼探究する生徒・自立する生徒・協働する生徒~

11月号

住所:伊豆市柏久保395-1 電話:0558-72-0219 発行:令和4年11月18日 文責:藤原 かおり

「向上」と「感謝」の後期

令和4年度の中間点を過ぎ、11月から後期の活動がスタートしました。生徒会役員、学年・専門委員会のメンバーも一新しています。徐々にではありますが、3年生から2年生へ生徒会活動のバトンが引き継がれていきます。

11月8日(火)、修中 Meeting (生徒総会) と修中 Family (全校レクリエーション)が行われました。修中 Meeting では、「修中のエンディングに向けて今私たちができることは?」をテーマに、閉校まで2年半となった修中生としての心構えや目標について話し合いました。生徒からは、「当たり前のことを当たり前にできることを大切にしたい。」、「これまで地域に支えられて生活できた。最後まで地域と関わり合って過ごしたい。」等の意見が出されました。話し合いの結果、「修中は、地域の輪や伝統を大切にし、何事にも積極的に取り組む学校です。」を決定して、生徒それぞれがめあてをもって学習や生活をしていくことになりました。今後、学年委員会や各専門委員会で具体的な取組について検討を進めていく予定です。これらの自治的な活動を通して、学校教育目標で目指す探究・自立・協働を具現化していきます。





「総合的な学習の時間」

全国学力・学習状況調査の結果分析号でもお伝えしましたが、本校では、教科や総合的な学習の時間等における、地域の人・物・ことなどの資源を活用した授業を実施したり、地域の現状や将来を考え提言したりする活動に力を入れています。11月は、1・2年生で職業学習の一環として「職業人に話を聞く会」を実施しました。地域の方のべ13名を講

師にお招きし、職業の魅力や働くことの意義などについて学びました。今後、2年生は近隣の高等学校調べ、1年生は自己の生き方を考える学習を行っていきます。また、3年生は、伊豆学習のまとめとして地域の課題解決のために考えた提言を発表しています。





修善寺地区生徒作品展 🍮 🦠

11月5(土)・6(日)、生きいきプラザで、修善寺地 区園児・児童・生徒作品展が開催されました。2日間 の来場者数は約1400名となり、多くの地域の皆様に生 徒の作品をご覧いただきました。ご来場ありがとうご ざいました。

※現在、美術の作品を校内展示しております。



•10/29 田方地区新人戦卓球大会 個人戦

IJ IJ

団体戦

• 11/3 飯塚杯争奪三島剣道大会 女子団体

• 11/3 伊豆地区新人戦サッカー大会

・11/13 秋季東部バレーボール選手権男子の部

・11/23 青少年の健全育成に係る表彰 スポーツ活動

IJ

IJ

文化活動

準優勝

5位

6位

優勝 男子卓球部

女子剣道部 優勝

準優勝 サッカー部

5位 男子バレー部

男子バレー部

男子テニスペア

C. girl (女子バスケ外部チーム)

吹奏楽部

トロンボーン

1日(木) 1年ゲートキーパー養成講座

6 目 (火) 学年専門委員会

14日 (水) 三者面談①

15日 (木) 三者面談②

16日(金) 三者面談③

19日 (月) 三者面談(4)

20日 (火) 三者面談⑤

23日(金) 2 学期終業式

8:00~ 8:10 朝の会

8:20~ 9:00 3学期始業式

9:05~ 9:10 着替え

9:15~ 9:25 清掃

9:30~10:20 学活①

10:30~11:10 学活②+帰りの会

11:25



<PTA活動>

- ※11/23 伊豆市青少年健全育成大会
- ※あいさつ運動へのご協力ありがとうござ いました。
- ※令和5年度役員選出へのご協力お願いし ます。(役員候補報告 1/6までに)
- ※1/6 PTA 運営委員会 18:30~ 関係役員の方は出席をお願いします。

1/6(金)3学期始業日の予定

下校



~ネット依存 保護者講座~ 本年度の保護者向け講座は動画形式 により実施します。

動画視聴期間: |2/|5~|/|5 視聴方法:「すぐーる」でお知らせ

ぜひ、ご視聴いただき、SNS やゲーム 等のネットとのつきあい方について、あら ためてご家庭で話題にしてください。



SC(スクールカウンセラー)坂井 稔 12/1、12/8、12/13、12/22 SSW (スクールソーシャルワーカー) 佐藤雅美 11/30、12/14、 心の相談員 内田 茂代 原則毎週月・水・金

今の生活の中で困っていること、心配なこと、悩んでいることなどがありましたら、学級担任までご連 絡ください。生徒だけでなく、保護者の方も相談可能です。教員とは違った立場で相談に乗っていただく ことができます。